



をいう。以下同じ。)の取扱いを次のとおり制限する。

平成二十六年十月二十七日

山梨県内水面漁場管理委員会

会長 平山公明

一 指示の内容

1 放流の制限

山梨県内において、コイの放流(再放流を除く。)をしてはならない。ただし、当該コイがコイヘルペスウイルス病検査で陰性が確認されたコイと同一飼育池のコイ群に属する場合又は公的研究機関が試験研究の用に供する場合は、この限りでない。

2 持出しの制限

山梨県内において、コイを採捕した者は、採捕したコイをその場から持ち出してはならない。ただし、次の場合は、この限りでない。

(一) 公的研究機関が試験研究の用に供する場合

(二) 採捕したコイのエラを除去した場合

(三) 漁業権に基づきコイが採捕されている漁場においてコイを採捕し、当該漁場の流域(山梨県内水面漁場管理委員会が別に指定する流域を除く。)内で食用に供する場合

二 指示の区域

山梨県内の公共用水面

三 指示の期間

平成二十六年十一月十七日から平成二十七年十一月十六日まで

山梨県内水面漁場管理委員会指示第二号

漁業法(昭和二十四年法律第二百六十七号)第六十七条第一項及び第三百三十四条第四項の規定により、水産動植物の保護を図るため、次のとおり制限する。

平成二十六年十月二十七日

山梨県内水面漁場管理委員会

会長 平山公明

一 指示の内容

山梨県においてイワナ、ヤマメ又はアマゴ(卵を含む。以下同じ。)を放流しようとする者は、山梨県内水面漁場管理委員会の承認を受けなければならない。ただし、イワナ、ヤマメ又はアマゴについて漁業権免許を受けている者が漁業権に基づいて放流する場合、捕獲したイワナ、ヤマメ又はアマゴを捕獲した場所に再放流す

る場合並びに公的研究機関が試験研究の用に供するために放流する場合は、この限りでない。

二 指示の区域

山梨県内の公共用水面

三 指示の期間

平成二十六年十月二十七日から平成二十八年十月二十六日まで